



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 増田製粉所
コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 武政 亮佐
(氏名) 岩永 和弘

TEL 078-681-6701

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,752	△5.8	309	△17.3	316	△17.1	155	△6.5
24年3月期第2四半期	5,044	2.6	373	11.6	382	14.7	165	32.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 190百万円 (△12.9%) 24年3月期第2四半期 218百万円 (36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.00	—
24年3月期第2四半期	18.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	7,292	3,769	45.3	362.51
24年3月期	7,241	3,636	44.3	352.00

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,306百万円 24年3月期 3,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	6.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△5.4	500	△1.7	500	△3.7	240	△7.8	26.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	10,000,000 株	24年3月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	877,526 株	24年3月期	877,526 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	9,122,474 株	24年3月期2Q	9,122,724 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気低迷から回復基調にあるものの、雇用情勢や個人所得が好転するには至らず、消費者の先行き不安感から節約志向が依然として高く、経営環境は非常に厳しいものとなりました。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、合理化、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成24年4月から平均15%引き下げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億5千2百万円（前年同期比2億9千1百万円減、5.8%減）となりました。営業利益は3億9百万円（前年同期比6千4百万円減、17.3%減）、経常利益は3億1千6百万円（前年同期比6千5百万円減、17.1%減）、四半期純利益は1億5千5百万円（前年同期比1千万円減、6.5%減）、四半期包括利益は1億9千万円（前年同期比2千8百万円減、12.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、小麦粉需要の低迷により、販売数量は前年同期を下回りました。その結果、売上高は2億6千1千8百万円（前年同期比5千万円減、1.9%減）、営業利益は1億6千4百万円（前年同期比2千2百万円減、11.9%減）となりました。

②食品

食品事業におきましては、春からの低温基調に加え天候不順等の影響を受け、売上高は2億3千3百万円（前年同期比2億4千1百万円減、10.2%減）、営業利益は1億3千6百万円（前年同期比4千9百万円減、26.5%減）となりました。

当社グループの売上高は、上半期と下半期とでその構成内容に季節要因による著しい相違があります。これは、当社グループの食品事業において、主要製品である乾麺の需要期が夏場であり、4月～8月に売上が集中する傾向にあるためであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末における総資産残高は前連結会計年度末に比べ5千1百万円増加し、72億9千2百万円となりました。

流動資産残高は前連結会計年度末に比べ9千7百万円増加し、39億3百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が2億4千2百万円、商品及び製品が1億6百万円増加した一方で、現金及び預金が2億6千2百万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は前連結会計年度末に比べ4千5百万円減少し、33億8千9百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が4千3百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8千1百万円減少し、35億2千3百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が1億4千3百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1億3千5百万円、長期借入金が4千万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、利益剰余金が1億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億3千3百万円増加し、37億6千9百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ3億5百万円減少し、6億7千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、1億2千7百万円（前年同期は8億1千7百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が3億1千4百万円、減価償却費が1億6千8百万円となった一方で、売上債権が2億4千2百万円、たな卸資産が1億7千5百万円増加し、仕入債務が1億3千5百万円減少したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1億8千万円（前年同期は4億9千万円の獲得）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1億8千万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、4千5百万円（前年同期は9億5千3百万円の使用）となりました。これは主として短期借入金の増加1億6千万円、長期借入金の返済5千6百万円、配当金の支払額5千4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の連結子会社において、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	939,678	676,986
受取手形及び売掛金	1,043,635	1,286,011
商品及び製品	815,815	922,288
原材料及び貯蔵品	887,480	956,053
繰延税金資産	42,502	38,946
その他	79,945	23,428
貸倒引当金	△3,244	△595
流動資産合計	3,805,813	3,903,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,453,644	1,421,839
機械装置及び運搬具（純額）	1,030,574	1,034,652
土地	397,304	397,851
リース資産（純額）	6,092	5,440
建設仮勘定	10,200	900
その他（純額）	40,839	34,258
有形固定資産合計	2,938,656	2,894,941
無形固定資産		
その他	11,449	9,879
無形固定資産合計	11,449	9,879
投資その他の資産		
投資有価証券	323,514	316,503
長期貸付金	4,431	3,843
繰延税金資産	5,283	6,675
その他	161,072	166,678
貸倒引当金	△9,157	△8,694
投資その他の資産合計	485,143	485,007
固定資産合計	3,435,249	3,389,827
資産合計	7,241,062	7,292,946

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	789,986	654,688
短期借入金	2,049,254	2,192,754
リース債務	1,370	1,370
未払法人税等	105,772	120,788
役員賞与引当金	8,000	—
その他	378,562	322,882
流動負債合計	3,332,945	3,292,484
固定負債		
長期借入金	116,652	76,650
リース債務	5,026	4,341
退職給付引当金	57,290	60,194
繰延税金負債	8,110	5,123
その他	84,757	84,510
固定負債合計	271,837	230,818
負債合計	3,604,782	3,523,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	2,777,176	2,877,513
自己株式	△202,538	△202,538
株主資本合計	3,142,276	3,242,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,828	64,361
その他の包括利益累計額合計	68,828	64,361
少数株主持分	425,174	462,668
純資産合計	3,636,279	3,769,643
負債純資産合計	7,241,062	7,292,946

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,044,503	4,752,723
売上原価	4,050,812	3,818,261
売上総利益	993,691	934,462
販売費及び一般管理費	619,854	625,342
営業利益	373,836	309,120
営業外収益		
受取利息	82	50
受取配当金	6,442	5,516
助成金収入	5,813	2,165
貸倒引当金戻入額	852	3,112
その他	4,773	5,019
営業外収益合計	17,963	15,864
営業外費用		
支払利息	8,820	8,057
その他	885	15
営業外費用合計	9,705	8,072
経常利益	382,094	316,912
特別利益		
固定資産売却益	376	10
特別利益合計	376	10
特別損失		
固定資産除却損	2,029	455
固定資産処分損	—	2,198
投資有価証券評価損	3,225	—
特別損失合計	5,254	2,654
税金等調整前四半期純利益	377,216	314,268
法人税等	158,445	118,325
少数株主損益調整前四半期純利益	218,770	195,943
少数株主利益	52,856	40,871
四半期純利益	165,914	155,071
少数株主利益	52,856	40,871
少数株主損益調整前四半期純利益	218,770	195,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	△5,344
その他の包括利益合計	180	△5,344
四半期包括利益	218,951	190,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,983	150,604
少数株主に係る四半期包括利益	53,968	39,994

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	377,216	314,268
減価償却費	185,054	168,564
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△684	△3,112
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,919	2,904
受取利息及び受取配当金	△7,377	△5,567
支払利息	8,820	8,057
有形固定資産除却損	2,029	455
有形固定資産処分損益 (△は益)	—	2,188
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,225	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,776	2,947
売上債権の増減額 (△は増加)	△104,433	△242,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	454,653	△175,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,286	△135,297
その他	△24,347	38,542
小計	921,567	△23,469
利息及び配当金の受取額	7,377	5,567
利息の支払額	△8,976	△8,493
法人税等の支払額	△102,519	△101,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	817,448	△127,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,685	△180,031
無形固定資産の取得による支出	△1,220	△400
投資有価証券の取得による支出	△1,262	△1,287
事業譲渡による収入	605,715	—
貸付金の回収による収入	1,949	808
その他	400	215
投資活動によるキャッシュ・フロー	490,896	△180,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△840,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△56,502	△56,502
リース債務の返済による支出	—	△685
配当金の支払額	△54,271	△54,733
少数株主への配当金の支払額	△2,500	△2,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△953,273	45,579
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	355,071	△262,692
現金及び現金同等物の期首残高	627,910	939,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	982,982	676,986

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,668,922	2,375,580	5,044,503	—	5,044,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,498	8,217	88,715	△88,715	—
計	2,749,420	2,383,798	5,133,218	△88,715	5,044,503
セグメント利益	187,048	186,055	373,103	732	373,836

(注) 1. セグメント利益の調整額732千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,618,912	2,133,810	4,752,723	—	4,752,723
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,922	8,668	83,591	△83,591	—
計	2,693,835	2,142,479	4,836,314	△83,591	4,752,723
セグメント利益	164,758	136,704	301,462	7,657	309,120

(注) 1. セグメント利益の調整額7,657千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。これにより、セグメント情報に与える影響は軽微であります。